

【第2回】

『もっとやる気を出してよー！』

子どものやる気が10倍持続する褒め方

- ・ やる気の仕組み
- ・ やる気を出してほしいときのNGパターン
- ・ やる気を持続させる方法
- ・ 今回の振り返り



前回の振り返り

- 前回決めたことはなんでしたか？

- どのくらい達成できましたか？

- 次に活かせることはなんですか？



やる気の仕組み

- どんなときに子どもに対して「やる気を出してほしい！」と思いますか？
どんなことに対して「やる気が持続したらしい」と思いますか？



宿題や勉強に対してやる気を出してほしい。

帰ってきたら、まず宿題をしてほしい。

やることをやってから、テレビを観たり、遊びに行ったりしてほしい。

- 今はどんな状況ですか？何点くらいできていますか？

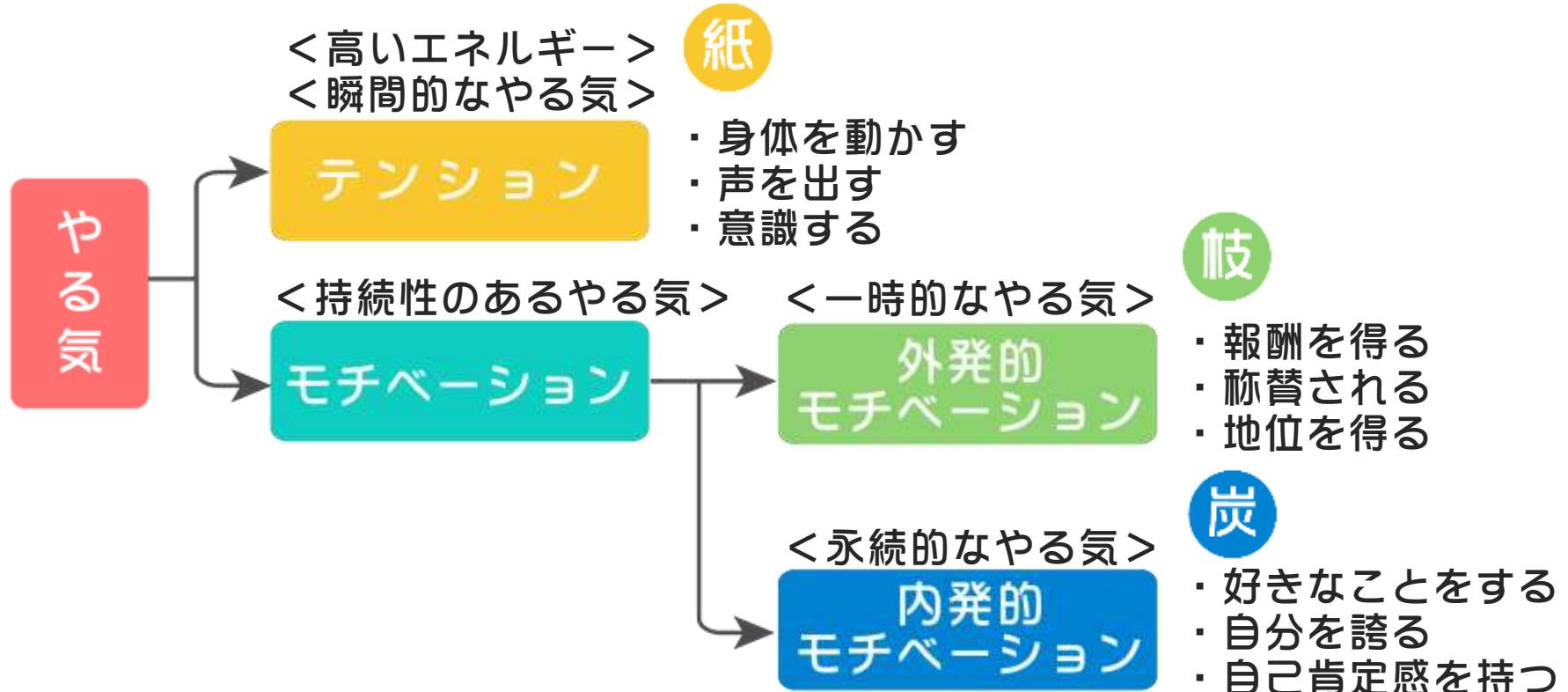
塾の宿題はやるけれど、学校の宿題はやらない。

夜22時を過ぎてからや、ひどいと学校に行く直前にやっている。

60点。

やる気の仕組み

- 3種類の「やる気」



やる気を出してほしいときのNGパターン

- 反発心を利用していませんか？



- NG1：まだできないの？
- NG2：あの子はできるよ？
- NG3：やらないならやめなさい！

- 子どもがやる気を出したとき、どんな言葉を言いたいですか？



さすがだねー！

やればできるじゃん！！

もう終わったのー？すごい！！

やる気を持続させる方法

- ・今、子どもが当たり前にできていることを書き出しましょう。

- ・学校に行く
- ・食事の後に食器を片付ける
- ・朝自分で起きてくる
- ・観たいアニメの録画
- ・妹の面倒を見ること
- ・ゲームをする
- ・私のスマホで写真を撮る
- ・ひとりでお風呂に入る
- ・着替えをする
- ・ひとりで歩く



- ・それは、どうしてできているのだと思いますか？

みんながやっている当たり前のことだから
毎日のことで言い続けた
自分がやりたいことだから
褒めていたらやるようになった

やる気を持続させる方法

- こんな褒め方、していませんか？
 - 一般的な基準と比較する（5歳なのにすごいね！）
 - 他人と比較する（あの子より速かったね！）
 - 成果にだけ注目する（100点なんてえらいね！）
- 言い換えましょう

| | |
|---------------|------------------------|
| • 本人の過去と比較 | （そんなことができる力がついたんだね！） |
| • 過去から続く現状の承認 | （できることがまた増えたね！） |
| • 目指す姿の実現 | （どんどんお姉さんに(かっこよく)なるね！） |
| • 未来の拡大 | （もっといろんなことができるようになるね！） |
| • 他人への影響 | （あなたを見てるとママもがんばろうと思う！） |



子どもの 向上心 と 可能性 を信じて
 本人の 成長 や 変化 に注目しましょう。

今回の振り返り

- ・ 今回、新たに気づいたこと、学んだことはなんですか？
- ・ まずは何をしてみますか？(いつ・どこで・誰に・なにを・どのように)

ここから感想を送ってね→

それ、やろうね。できるからね。気づいたことを教えてね。

やまだともこ

